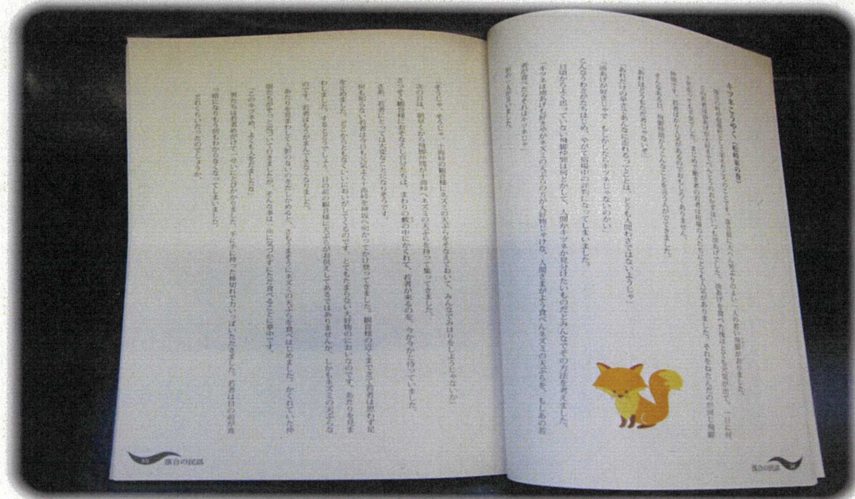


(令和2)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいのすばらしさをこうせいにつたえとくべついいんかい		地域名	落合		地区	
	落合のすばらしさを後世に伝える特別委員会		会員数	8		人	
ふりがな 代表者名	かいちょう いいもり おさむ		延べ 参加人数 内(会員数)	55		人(8 人)	
	会長 飯森 修			会議開催×3回 =24人 ドローン練習会 = 8人 ドローン選抜メンバー練習会 = 3人 民話編纂 =20人			
事業名	落合のすばらしさを後世に伝える事業		実施期間	令和 2 年 6 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで			
総事業費 内(補助金額)	269,500 円 (200,000 円)						
事業 分類	番号	3	活動 分野	番号		10・11	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的						
	落合のすばらしさを後世に伝えるため、「落合」の風景、地形、行事等の撮影と記録及び民話などの伝承をすることを目的とする。						
	1 ドローン操縦者の養成 2 風景や地形、行事等の継続した撮影と記録 3 地域の民話の伝承 4 地域の方にそれらを知ってもらう						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン講習会を開催し、ドローンのルール等を学び、その後フライト練習を行いました。 ・ドローンを飛ばして、地域の風景、地形の空撮を行いました。 ・地域の民話の伝承の方法や、やり方について話し合いました。 ・製本方法などを話し合っ、民話伝承本を完成させました。(100冊) 						
	主な活動の流れ						
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
	<p>(成功)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民話の伝承本が完成した(100冊) ・令和3年度に保育園、小学校、中学校に配本して、計画通り民話伝承を進めて行きたい。 <p>(失敗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンパイロットの養成が落合の空撮と同時に出来るという考えからスタートしたが、練習できる人が限られてくる現状を予想できなかった。現在は選抜メンバーで空撮を行っている。 						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>■後世に残す映像を撮り続ける活動を続けていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催状況や、落合の風景を定期的に撮影をおこない、写真や映像を残していく活動をしていく。 <p>■落合の民話をとおして、まち協事業の他青少年健全育成活動や保・小・中学校と連携し、子供たちが落合の歴史や文化に興味を持ってもらえるように工夫をしていく。</p>							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

民話伝承本



ドローン講習会
開催風景



(令和2)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おもてなしのさとあぎ		地域名	中津川市阿木		地区
	おもてなしの里阿木		会員数	11		人
ふりがな	みやけひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	650 人(11 人)		
	三宅秀雄			インフルエンザウイルス拡大によりイベントの中止が多く、見学者は例年より少ないようでした。		
事業名	イベント・お祭り紹介プロジェクト					
総事業費 内(補助金額)	219,380 円 (200,000 円)		実施期間	令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ④		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	中津川市阿木、飯沼、広岡では地元のお祭り、イベント等を紹介する団体がありません。阿木交流センターオープンに合わせて地域のお祭り、イベント等を紹介して地域外の多くの人々に参加をしていただいて、阿木地区の良さを知って戴きたいと思っております。					
	具体的な活動内容					
	阿木交流センターを中心として9団体を紹介したポスター100枚、阿木有志9団体を紹介したマップ3000部、花ハスの里紹介のぼり50枚、阿木城跡紹介のぼり20枚、阿木城跡紹介看板2枚を作りました。成果品を利用して新聞社などの報道機関、中津川市恵那市関係各課等への働きかけを行いPR活動を行った。					
	主な活動の流れ					
	執行部会	執行部会	執行部会		執行部会	執行部会
	ポスターマップ	ポスターマップ	ポスターマップ	ポスターマップ	ポスターマップ	活動事例
	作り打ち合わせ	写真撮影	ゲラ打ち合わせ	印刷発注	各地域に配布	報告書作り
	ハスのぼり作る		阿木城跡幟作る			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
出来上がったポスター、マップを持って鷹見市議員、区長会長、会員全員が阿木交流センター前で、中日新聞社、岐阜新聞社、の取材を受けて後日新聞に掲載していただいた。中津川市各地区の公民館にポスター、マップを配布する。中津川市観光課にお願いして観光施設に配布していただいた。中津川市文化振興課にお願いして中津川市の文化施設に配布していただいた。恵那市観光協会にお願いしてポスターマップを恵那峡観光施設に配布していただいた。明知鉄道にお願いしてポスターを各駅に貼って戴いた。どの部署も親切に対応していただいて、失敗や苦労はありませんでした。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
中津川市観光課と協力してインターネットで配信していただく。恵那市観光協会、明知鉄道等にお願いして、各行事のPRをしていただく。今までどうり中日新聞、岐阜新聞、ぎふチャンテレビ等に各行事の掲載をお願いしていく。今後は長楽寺の大イチョウの看板や田嶋しゃくなげ園の案内看板等を作成していきたいと思っております。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



中津川・「おもてなしの里」観光マップも

（福本雅則）

発行所  **中日新聞**
名古屋市中区三の丸一丁目6番
〒460-8511 電話 052(201)

17 11月21日 2020年(令和2年)11月21日(土曜日)

同じ頃、夏まで内陸を賣色く廻める大イチャウ、中津川市、木之本の長澤で

中国新聞

◆◆◆ 中日新聞社

食糧

日本新聞

毎日新聞社

イチヨウちる 大木のねに かけぶとん

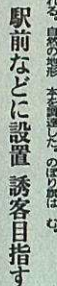
クリスマス前に出荷を待つシクラメン＝30日午後0時24分、中津川市阿木、伊藤徳孝

A photograph showing a worker in a dark vest and cap tending to rows of pink roses in a greenhouse. The roses are in various stages of bloom, and the worker is positioned in the background, surrounded by the plants.

シクラメン 冬の香り 中津川と恵那、出荷ピーク

[illegible]

(福本雅則)

[illegible]

中津川の保存会がのぼり旗作る

美術品
高價買取
(買取保証)



ある高三十八丁の「チョウが真・緑色に染まり、晩秋らしい眺めを見とどする人が市内外から訪れている。」

「今年は早めに足を運んだ方がいいが」と漁屋もしている。（堀本雅則）

昭和十三年の頃

(令和 2)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ちゃーむめいつ charm mates	地域名	坂下	地区		
		会員数	7	人		
ふりがな 代表者名	かつらがわ ようこ 桂川 容子	延べ 参加人数 内(会員数)	73	人(57 人)	
事業名	坂下 花いっぱいプロジェクト		会議(4回) 作業(12日) ワークショップ(1回)			
総事業費 内(補助金額)	214,776 円 (200,000 円)	実施期間	令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 20 日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	③ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業					
事業 内容	事業の目的					
	坂下地域や住んでいる人を明るく元気にできる事業を目指す					
	具体的な活動内容					
	①きりら坂下の花壇・公園の整備 ②花のプランターの設置(駅から公民館、坂下総合体育館、きりら坂下など7箇所) ③坂下総合体育館の花壇の整備と花植え ④ワークショップ「花と木の葉のリース作り」の開催(参加者6名) ⑤坂下駅前のイルミネーションの設置 ⑥通信の発行(3月末発行・2000部作成予定)					
	主な活動の流れ					
		①		②		
			③	④	⑤	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	⑥					
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	新型コロナウイルス感染症の影響で、当初計画していたイベントが開催できず、「坂下花いっぱいプロジェクト」という環境整備を重点的に行う事業に変更し、活動を進めた。花を植えたりイルミネーションを設置したことにより、地域の人から「地域が明るくなった」「気分が良く元気がでた」等の反響があり、チャームメイツの活動も知ってもらうことができた。また、外だけでなく、家の中も明るく飾ってもらえるよう、「花と木の葉のリース作り」のワークショップを行った。SNSなどで坂下の風景やチャームメイツの活動を発信することで、興味をもってもらうことができた。					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
	・イベント・教室などを行う ・坂下の魅力の発信(SNS) ・小中学生との活動の実現 ・公園などの環境整備を行う ・他の団体との地域活動の実現化 活動に賛同してくれる仲間を増やし広げていくことと、地域に住む人たちが自ら考えて参加できるような活動も考えていきたい					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

①きりら坂下の花壇・公園の



②花のプランターの設



プランターにメッセージをつけて
各場所に設置

③坂下総合体育館の花壇の整備と花



整備



花植え

④ワークショップ「花と木の実のリース



⑤坂下駅前にイルミネーションを



坂下まちづくり協議会のみなさんにも
ご協力いただき、明るい駅に！

令和 2 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	みやさかかつせいかけようぎかい		地域名	神坂・山口・坂下・川上		地区
	みやさか活性化協議会		会員数	28		人
ふりがな 代表者名	やすえさだお		延べ 参加人数 内(会員数)	87 人 (42 人)		
	安江 貞夫			運営会議(2回)伐採作業(1日) 除草作業(2日)植樹作業(1日)		
事業名	みやさか花街道整備事業					
総事業費 内(補助金額)	273,392 円 (200,000 円)		実施期間	令和 2 年 6 月 10 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	①②	活動 分野	番号	③④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	令和3年度、開通予定の神坂SASマートインターをこの地域の変革のチャンスと捉え、スマートインターから神坂・山口・坂下・川上までをつなぐみやさか花街道(仮称)を整備し、観光客の流れを作り、観光客の増加による経済効果と、この地域を訪れることにより、地域の文化・特色触れる事により、他地域からの移住定住の促進につなげ、地域の活性化を図る。					
	具体的な活動内容					
	神坂SASマートインター出口から、馬籠から山口樺街道、県道3号線、夕森公園線を経由し、夕森公園までの植栽可能な街道沿いに、地域住民と協力して花桃・モミジの苗木430本を植栽する予定。					
	主な活動の流れ					
	手入れ					
	植栽					
	準備					
	計画					
		4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
今回は、県道沿いの通常では草むらになる個所を選定し、地主に承諾を得て伐採を行いました。以前の工事残土等が処分されている土地の為、除草、植樹作業も大変でした。例年ですと、雑草が繁茂し、見通しも悪くなる地点が、今年から花や紅葉が楽しめる街道になると思います、通行する皆様の目を楽しめるのではないのでしょうか。また、地域にとっては、永年の荒廃地が手入れされ景観の改善につながり、植栽後の手入れを行う事により荒廃地化の防止と、景観整備作業による地域の見直しと連帯感、が生まれ、郷土愛につながっていくのではと期待を持っています。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
植栽個所は荒廃地の為、植栽後の手入れ(ツル切り、除草等)をこまめに行わないと樹木の生育が悪くなるので、地域住民の参加と自主的な活動に結び付ける必要があります。また、有害鳥獣(猪、鹿)の被害も考えられる為、その対策も考慮する必要があるのを感じました。 また、開花・紅葉時期には地域での活動(のぼり旗、案内板の設置、整備等)を行えるように進めていきたいと思っています。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



植樹予定地伐採



植樹予定地伐採
石ころが多くまた、雑草も繁茂
しており、難作業でした



植樹作業中
木の根、石があり穴掘りも
難作業でした



植樹作業中
あまりの硬さに重機の力を
借りて作業



植樹作業中

ようやく終わりに近づきました



植樹作業完了



植樹作業完了



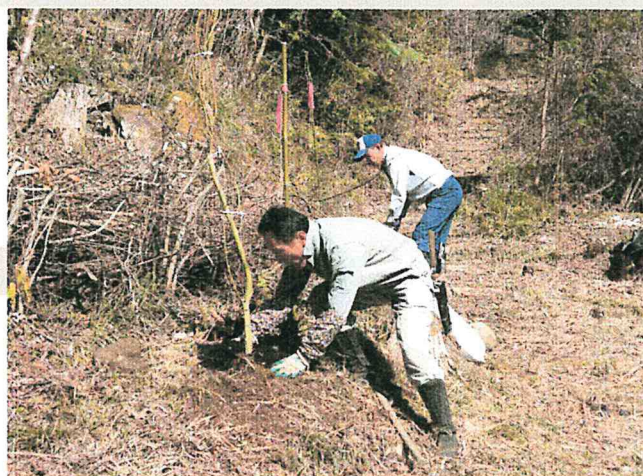
植樹作業完了
花桃が咲き、モミジが紅葉
すれば、見事だと思います

(令和 2)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かわうえもみじまもりたい		地域名	川上 地区		
	川上もみじ守り隊		会員数	22 22 人		
ふりがな 代表者名	かまだ こうぞう		延べ 参加人数 内(会員数)	84 人(22 人)		
	鎌田 康三					
事業名	県下一のもみじの里を目指す活動					
総事業費 内(補助金額)	240,580 円 (200,000 円)		実施期間	令和2 年 4 月 1 日から 令和3 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑥	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	平成4年から川上地区住民が県立自然公園「夕森」にもみじの植栽を続けてきました。現在まで公園内に15,000本以上のもみじを植栽し、その手入れをボランティアグループ「もみじ会」により行ってきたが、メンバーが高齢化し、その活動がままなくなってきました。新しくボランティアグループ「川上もみじ守り隊」を組織し、県下一のもみじの里を目指す。					
	具体的な活動内容					
	モミジの苗木が成長するまで下草刈りや雑木を伐採し山を整備する。重点作業場所を決めて作業のサイクルを作る。 4/11植樹祭中止の為植栽代行作業 8/2重点作業計画地山荘跡から鈴根沢堰堤の草刈 10/18重点作業計画地鈴根沢周辺の整備作業 10/31YOU遊広場周辺の美化作業 12/12重点作業計画地マス池上の法面の雑木伐採作業 3/14重点作業計画地マス池対岸の雑木伐採作業					
	主な活動の流れ					
			重点作業計画		重点作業計画	
	植樹 施肥		つる切り 剪定	草刈 伐採	草刈 伐採	伐採
	4月		8月	10月	12月	3月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
重点計画地3カ所の整備作業は2年間でようやく一巡した。2年掛かった原因はそれまで整備が中断されていたため一つの作業に時間がかかったからである。整備作業の進め方が大体出来上がったので、後はこの先何年も継続するだけである。次の担い手をどれだけ確保できるかが課題である。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
川上まちづくり推進協議会は、夕森キャンプ場の指定を受け、又、夕森国際マス釣り場の運営も受託した。夕森渓谷全体を組織化したマネジメントをすることで、もみじ守り隊を組織に組み入れて活動の範囲を拡げて行きたい。コロナ禍で仕事改革が進む中、山里の素晴らしさをアピールし、都会からの移住を促進できる形を創り上げる。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

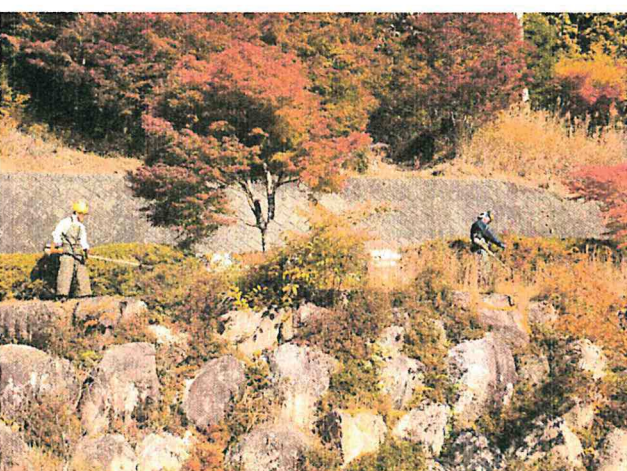
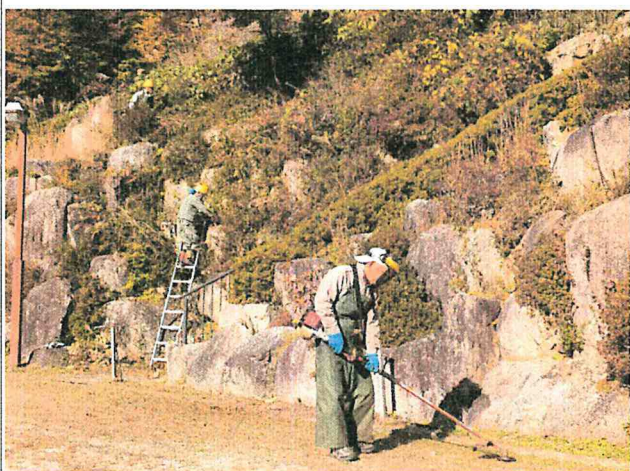
4月11日植樹・椎茸の菌打ち作業



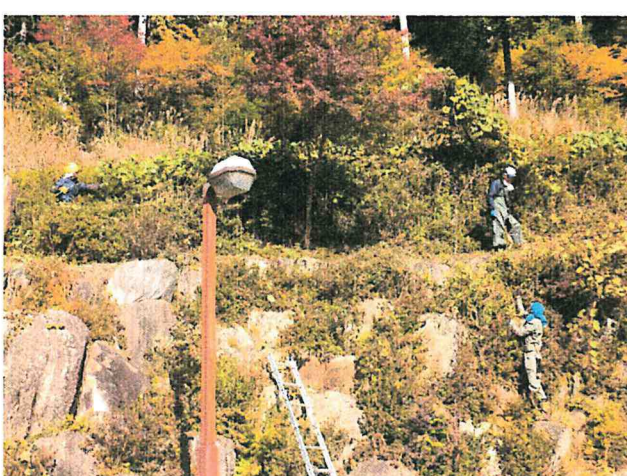
8月2日除草作業



10月17日除草作業



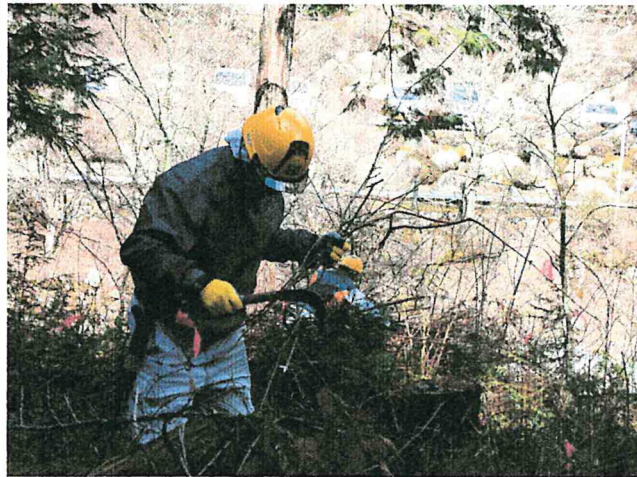
10月31日雑木処理作業



12月12日雑木・雑草除去作業



3月14日雑木処理作業





植樹祭中止による植栽作業代行4/11



重点作業計画地マス池上法面12/12



重点作業計画地旧山荘跡地から鈴根沢堰堤8/2



重点作業計画地マス池上法面12/12



鈴根沢周辺草刈り作業10/18



重点作業計画地マス池対岸3/14



You遊広場周辺の整備10/31



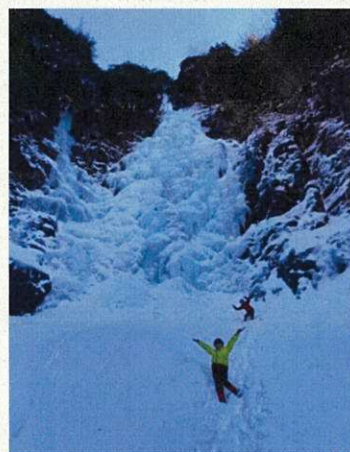
マス池対岸 女性隊員奮闘3/14

令和2年度

がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな	かしものうりんぱくすいしんきょうざいかい	地域名	加子母		
団体名	加子母農林泊推進協議会	会員数	12 人		
ふりがな	かいちょう ないきあつし	延べ	23人 (13人)		
代表者名	会長 内木篤志	参加人数			
事業名	加子母再見トレッキングツアー	うち (会員数)			
総事業費 内 (補助金額)	294,784円 (200,000円)	実施期間	令和2年 7月 /日～ 令和3年2月28日		
事業 分 類	番号 3	活動 分 野	番号 3		
	①地域の課題の解決など、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事 業 内 容	事業の目的				
	加子母地内の豊富な森林資源を活用し、かつての山岳ルートの掘り起こしや維持整備を行うことによる観光ルート開発を行い、同時にガイド育成も進め、都市部からの観光客の誘客に努める。				
	具体的な活動内容				
	古道木曾越峠の下見 → 構成員で下見 乙女溪谷氷瀑ツアー → 募集開催 高時山トレッキング → 募集開催				
	主な活動の流れ				
	実施についての打ち合わせ 備品購入について 7・8・9月	木曾越峠 ルート下見 10月	ツアー打合せ 募集など 11・12月	乙女溪谷氷瀑ツアー 高時山トレッキング 1月	問題点など洗い出し 次年度に向けて 2月
	具体的な活動成果				
	<p>全体：ネット社会において紙媒体は意味をなさず、画像・映像の果たす役割が非常に大きい。今回、ドローンを購入し、本格的に加子母の映像を撮りため発信する準備を整えた。また初めての試みとして通販サイトカシモールを利用して募集・開催した。加子母PRと安全面を考えた備品が整い、活動の基礎と幅が広がった。</p> <p>木曾越峠：現在道が使われないことや大雨の影響もあり、かなり荒廃した感じになり、ツアー開催には道自体のテコ入れが必要なが分かった。次年度、継続して整備を行い、渡合温泉までのルートを構築する。</p> <p>乙女溪谷氷瀑・高時山トレッキングツアー：12月スタッフ下見登山。例年よりひと月早く滝が凍ったことを確認。カシモールにて募集（氷瀑）。1月開催 氷瀑6名参加。高時山（希望者呼びかけ）4名参加。</p> <p>コロナ下では知人同士の少人数でのツアーが主流となると思われ、募集・実施方法とも今後に繋がる収穫となった。</p>				
	今後の展開				
	<p>コロナウィルス感染症により、生活様式や考え方が大きく変化した年となり、「旅」「観光」の概念・方法も大きく変わった。観光において、森林空間を利用した森林サービス産業が大きく伸びることが予想されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なツアー提供のための参加者のレベルに合わせた複数のルート開拓（ルート整備） ・観光だけにとどまらない、加子母の魅力を発信するための四季を通じた画像・動画の収集、発信作業 ・継続事業（サステナブルツーリズム）とするための、価格設定やターゲットの選定。 				

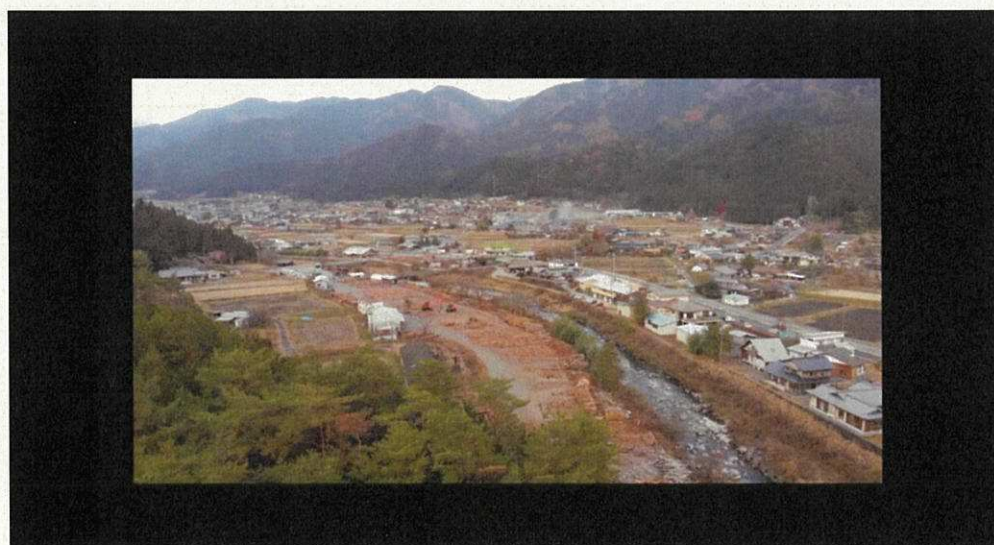
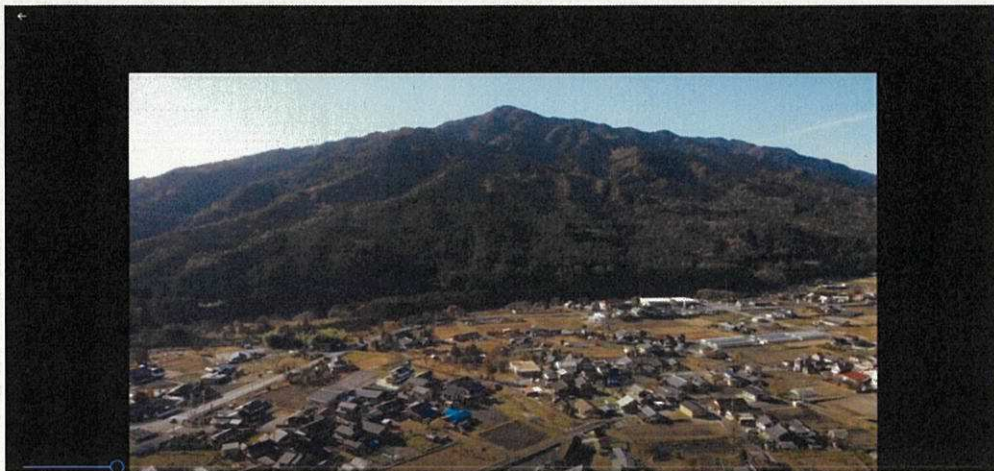
活動状況写真



高時山トレッキング



ドローン撮影



令和2年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ブラック ビー クラブ BLACK BEE CLUB		地域名	付知地区		
			会員数	38人		
ふりがな 代表者名	はやかわ としひろ 早川 利廣		延べ 参加人数 内(会員数)	128人		
事業名	ハイバチで地域づくり ～食文化を次世代につ繋ぐ～			総会 15人、蜂追い 8人、リモートオンライン大会 5人、その他会員それぞれの蜂追い活動 100人		
総事業費 内(補助金額)	299,685円 (200,000円)		実施期間	令和 2年 8月19日から 令和 3年 2月26日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内 容	事業の目的					
	<p>付知町では、昔からハイバチを飼養して蜂の子やイナゴを捕獲し食べることで食生活における滋養分を補う食虫文化がある。</p> <p>この地元に残る文化を次世代へ継承し世代間交流による地域づくりを目的とし、地元の若い人たちに蜂を追ひ、飼ひ育てたヘボ(蜂の子)を食べてもらうという体験を通じ、高校生から高齢者まで交流を図りながら次の世代に受け継ぎ地域の活性化につなげる。</p>					
	具体的な活動内容					
	<p>・今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していた蜂追い体験から巣箱の設置・飼育、蜂の幼虫抜き体験や調理をして試食、・付知 BLACK BEE CLUBはい蜂コンテストの開催(蜂抜き体験、試食会、講演会)はできませんでしたが、体験用巣箱を作成し、新規会員に巣箱を貸し出し、巣箱の設置から飼育を体験をおこなった。</p> <p>・付知BLACK BEE CLUB蜂コンテスト(中止)でしたが、リモートオンライン大会(5名)に参加し、他地区との交流・意見交換ができた</p> <p>・新規会員も増え、ユニホーム(ティシャツ)も作成した。</p>					
	主な活動の流れ					
	・総会	・蜂追い会(付知地区内) ・東京大学演習林での蜂追い会・巣箱設置(中止)		・リモートオンライン大会 ・付知BLACK BEE CLUB蜂コンテスト(中止)	・反省会	・書類整理、完了報告書、活動報告書等作成
	6月	8月～10月		11月	12月	1月～2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	<p>・今年度は新型コロナウイルスの影響で活動が大幅に減りましたが、新規会員が10名増え、38名となりました。他地域の会員が多く入会したため、今後は付知地区の若い会員の入会に力を入れていきたい。</p> <p>・リモートオンライン大会に参加できたが、初めての体験で、やり取りがうまくいかない場面もあったが、他地区との交流もでき、情報交換ができた。</p> <p>・ユニホーム作成したことにより、チームとしての連帯感や一体感の助長を図った。</p>					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
<p>地域に伝わる伝統的な食文化を若者たちに継承し、情報発信することで地域資源の魅力アップにつなげていく。また、昆虫食は昨今注目を浴びており、当地域ではヘボは高級食材として取引されており、新商品の開発などにも取り組み多くに人に地域資源として再発見してもらい、安定的な出荷をおこなうことにより、収入が増やしていく。</p>						

活動状況写真等（6枚程度添付し、コメントを添えてください）

へぼ追い体験



リモートオンライン大会の様子



体験用巣箱



付知 BLAK BEE CLUB ユニホーム(Tシャツ)

